

**吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定委員会**  
**第三者モニタリング・評価**  
**議事要旨**

**【会議名】**

吹田市花とみどりの情報センター指定管理者候補者選定委員会  
第三者モニタリング・評価

**【開催日時】**

令和5年1月27日（金曜）午後2時00分から午後4時15分まで

**【開催場所】**

吹田市花とみどりの情報センター 講習室

**【次第】**

- 1 開会
- 2 議事
  - (1) 委員長及び副委員長の選出
  - (2) 指定管理者の評価に係る審議
    - ①吹田市花とみどりの情報センター概要説明・吹田市の所管モニタリング結果報告
    - ②指定管理者の事業の進捗報告
  - (3) 審議の総括・答申
  - (4) その他
- 3 閉会

**【配布資料】**

- (資料1) 委員名簿
- (資料2) 第三者モニタリング・評価の概要
- (資料3) 吹田市花とみどりの情報センター概要と市のモニタリング結果・評価
- (資料4) 吹田市花とみどりの情報センター事業の進捗報告
- (資料5) 吹田市公園とみどりに関するアンケート調査結果
- (参考資料1) 吹田市花とみどりの情報センター指定管理者募集要項
- (参考資料2) 指定管理者制度導入施設の管理運営状況総合評価シート（令和3年度）及びモニタリング・評価シート（令和3年度）
- (参考資料3) 令和3年度吹田市花とみどりの情報センター年次報告書
- (参考資料4) 決算報告書（第50期、第51期）

(参考資料5) 事業計画書 (選定時)

(参考資料6) 第三者モニタリング・評価により把握された内容及び対応策 (様式)

**【出席委員】** ※順不同、敬称略

委員長：上甫木昭春 (大阪府立大学 名誉教授)

副委員長：藤本真里 (兵庫県立大学 自然・環境科学研究科 教授／兵庫県立人と自然の博物館 事業推進部長)

委員：川口将武 (大阪産業大学 デザイン工学部 建築・環境デザイン学科 准教授)

委員：長村智司 (一般社団法人フラワーソサイエティ 会長)

委員：井上寧 (井上寧税理士事務所 税理士)

**【欠席委員】**

なし。

**【会議の公開・非公開】**

非公開 (吹田市情報公開条例第7条第2号及び第4号に該当するため)

**【傍聴者の数】**

—

**【発言の要旨】**

**1 開 会**

事務局

定刻となりましたので、ただ今から、吹田市花とみどりの情報センター第三者モニタリング・評価を開催させていただきます。

本日はお忙しい中、お集まりいただきまして誠にありがとうございます。

本日は、第1回会議のため、委員長及び副委員長が選任されておられません。したがって、委員長及び副委員長が選任されるまで、事務局が会議の進行を務めさせていただきます。

開催にあたりまして、本選定委員会の事務局であります土木部公園みどり室の室長尾割からあいさつをさせていただきます。

**【室長あいさつ】**

事務局

続きまして本日もご出席いただきました委員の皆様を委員名簿の順に紹介します。

**【事務局より各委員の紹介】**

事務局

以上、本日は5名で本選定委員会を構成いたします。委員の皆様、どうぞよろしくお願

いたします。

続きまして、事務局の担当職員を紹介します。

【事務局より事務局の担当職員の紹介】

事務局

続きまして、指定管理者を紹介します。

【事務局より指定管理者の紹介】

事務局

次に、第三者モニタリング・評価の概要及び本日のスケジュールをご説明させていただきます。

【事務局より「第三者モニタリング・評価の概要及び本日のスケジュール」の説明】

事務局

ご質問はございますか。

## 2 議 事

### (1) 委員長及び副委員長の選出

事務局

それでは、議事(1)「委員長及び副委員長の選出」を進めさせていただきます。

【委員長、副委員長を選任】

委員長：上甫木委員

副委員長：藤本委員に決定。

事務局

これより会議の進行を、委員長にお願いいたします。

### (2) 指定管理者の評価に係る審議

委員長

それでは、議事(2)「指定管理者の評価に係る審議」に移りたいと思います。

①吹田市花とみどりの情報センター概要及び吹田市の所管課モニタリング結果報告について、事務局から説明をお願いします。

【事務局より「吹田市花とみどりの情報センター概要及び吹田市の所管課モニタリング結果報告」を説明】

委員長

ただ今の説明に関しまして、何かご質問などありますか。

委員

説明中に課題と対策とありましたが、これは所管課モニタリング・評価によって確認されたものですか。それとも所管課と指定管理者との中で今後の対策の方向性として示されたものですか。

## 事務局

後者に該当します。

## 委員

所管課モニタリング・評価で管理経費縮減とありますが、これは良いことなのですか。

## 事務局

指定管理者がシステムを導入したことにより、経理事務などで業務の効率化が図られており、良いことといえます。

## 委員

課題に挙げられていた利用者層の偏りについて、どのような利用者層に偏っていますか。また、ボランティア団体との連携について、現状として、ボランティア団体相互の交流の場はここでやられていますか。

## 事務局

利用者層の偏りについては、指定管理者が利用者アンケートを実施しており、年代や性別、居住地等がわかるのですが、アンケート結果を見ると 50 代以上の利用者に偏っています。

交流の場については、以前はありましたが、コロナ禍の影響か現在はなく、そのあたりも少し問題と認識しています。ボランティア団体同士で共有しながら、高めていくという意味でも交流の場についての検討が必要かと考えています。

## 委員

コロナ禍前は、そういう機会があったということですか。

## 事務局

補足しますと、指定管理者が集めているということではなく、市で里親道路という制度があり、その中で活動している団体に年 1 回集まっただき、そこに指定管理者も入って交流する機会がありましたが、コロナ禍に入り、そういった場がなくなった経過があります。

## 委員

施設の利用状況について、令和 2 年度の 2 施設から令和 3 年度に 1 施設になったことで、利用者数が 23,119 人から 7,905 人に減っていますが、想定していた人数なのかそれとも想定よりも多いまたは少ない人数ですか。

## 事務局

令和 2 年度は 2 施設であったこと、令和 3 年度になって指標に関する定義の見直しを図ったことから単純な比較や想定していた人数かどうかを判断するのは難しいところですが、今後は新しい運用基準に沿った目標設定をしていけたらと考えています。

## 委員

どのように指標を変えましたか。またその意図は。今までの方法で良かったのではないのでしょうか。

## 事務局

これまでの方法ですと、入館者数の数え方が近いのですが、指定管理者が外での活動が増えた経過もあり、そのような活動も利用者数に反映させようとして見直しを行いました。

## 委員長

続きまして、②「指定管理者の事業の進捗状況」ですが、指定管理者から説明をお願いします。

【指定管理者より「吹田市花とみどりの情報センター事業の進捗報告」の説明】

## 委員長

それでは、吹田市及び指定管理者からの進捗報告についての説明を受けましたので、審議を始めたいと思います。何かご質問などはありますか。

## 委員

進捗報告を聞いてよくやっていると思います。情報センターの人員配置はどのようになっていますか。

## 指定管理者

6名程度で運用しています。

## 委員

情報共有や方針決定などを行うにあたり、打ち合わせはどのくらいの頻度で実施していますか。

## 指定管理者

月1回の定期ミーティングをスタッフ間で実施していて、自身の担当業務について主体的に発言してもらい、課題についてはみんなで共有しています。スタッフが何か課題を見つけた際に言いやすい雰囲気になっています。

## 委員

進捗が上手くいっていない場合には、センター長が促すのでしょうか。

## 指定管理者

そうですね。この2年間コロナ禍ということもあり、なかなか積極的に打ち出せない空気になっていました。内へ内へと入っていく中で公園みどり室から情報交換等を通じてアドバイスや気づきをもらい、それをスタッフに共有したことはあります。

## 委員

以前、万博記念公園でロハスフェスタが開催されていましたが、今も開催されていますか。ロハスフェスタが花と緑のフェアの集客に影響を与えているのでは。

## 指定管理者

今も開催されています。花と緑のフェアはロハスフェスタと競合していません。ロハスフェスタも開催していたけどこっちに来ましたと言うお客さんもいますし、SNSを見ると、花と緑のフェアで十分楽しかったという声もあります。

## 委員

公園のプレイヤーには2種類あると思っています。花とみどりを育てるのが好きな人たち、それと公園とみどりを自分のしたいことに活用する人たち、いわゆるまちづくりが好きな人たちがいます。花とみどりが好きな人をまちづくりの担い手に育てようと考えがちですが、必ずしもそうはなりません。花とみどりを育てて幸せになっていたならそれはすごく良いことだと思いますし、そういった活動を公園で行うのはいっぱい幸せを生んでいると思うのです。公園とみどりを活用しようとするプレイヤーについては、公園の使い方の活用促進を頻繁に実施すると出会えるのではないかと考えています。花とみどりの情報センターがみどりからまちづくりまで考えているというのは非常に先進的だと思います。そんなことが公園でできるのか、そんな幸せが公園で生まれるかという気づきがこのプロジェクトの面白いところです。まちづくりが好きなプレイヤーにとって現行のルールや制度が追い付いているのかを考える必要があります。新しい人が来ないのは公園でできるという期待感がないからでそれを吹田市で変えていく、例えば規制緩和とかをどれだけできるか。制度を変えることに関しては行政の役割であり、役所の職員にはしっかりと現場を見てほしいものです。このルール何とかならないのかという事例があるのではないのでしょうか。

## 指定管理者

我々だとやり方を把握しているのでできるのですが、プレイヤーにとっては制度やルールで引っかかる部分があります。この2年間プレイヤーの活動支援をほとんどできなかったのがこれからだと思っています。

## 委員

こんなこともできたという事例ができることを楽しみにしています。

## 委員

つつつ市について、市民の満足度は高いとのことですが、事業者やプレイヤー側からはどのような評価ですか。例えば収益事業をしたいとか、もう少し儲けてみたい、緩和してほしいという声はありますか。

## 指定管理者

事業者にもアンケートを取ってしまして、自由記入欄に楽しかったという意見がありました。指定管理者としては、楽しみながら商売をする環境づくりに気をつけてしまして、今までの公園であったようなイベントとはまた違った形でどちらかという若い夫婦、親子連れといった今まで来なかった人たちをターゲットとしています。あまり公園に来なかった層の目的になるようなイベントを打ち出しているというのもあって、今までの市のイベントでは見られなかった地元の人気店やすごく斬新な事業者を呼んでいます、そういった人たちから高い評価を得ています。

これまで公園に来ない人の声が聞けていなかったのが、今回の市民アンケートで公園を利用しない人に理由を聞きましたが、回答に目的がない、魅力がないとあり、目的を作

らないといけないと考えています。イベントを実施するのは賑やかだけでなく、今までになかった魅力なり目的を作ると人は来るのではという仮説があるからです。そういった意味でも公園に頻繁に足を運んでくれる人、そこに寄与してくれる事業者は我々が実際に行動を起こすことで見つけられていると考えます。

#### 委員

若い世代を呼び込むのも一つですが、兵庫県立人と自然の博物館の事例ですと、ひょうごエコロコプロジェクトというのを実施していきまして、公園に幼稚園の遠足の誘致をしています。幼稚園は遠足に行く予算をもっています。公園で楽しいプログラムをすることで、公園にきた子どもが親にまた連れてってとなるので、公園を知らない若い層に公園の魅力を知ってもらう良い機会だと思えます。幼稚園の先生も、遊具のない自然環境での遊ばせ方を知ることになります。

#### 指定管理者

小中学校の活動についての課題がありまして、小学生に対して活用プログラムが提供できるということを営業しないといけないと最近考えています。校長会にチラシを配る、プレゼンテーションなどを検討しています。

#### 委員

幼稚園の先生は、子どもにこんな遊びをさせてあげたいという熱い思いも持っていますからね。求められているかもしれません。

#### 指定管理者

小さい時に遊んだ体験が成長して親になった時にきっと効果を発揮するのでしょうかね。

#### 委員

小中学生は親と行動を共にしないですが、幼稚園児は親と行動を共にしますよね。

#### 指定管理者

小学生ですと低学年までですよ。

#### 委員

シンガポールの植物園の事例ですが、隣接する幼稚園から幼稚園児が植物園内の噴水で遊んでいたりと、幼稚園児のお母さんやメイドが順番で子どもの見守りをしながら噴水で集まって談笑していたりと計画的にはではなく自然発生的に人が集まってくるのです。やりようによっては吹田市でもできるかもしれません。子育て中のお母さんは孤独になり、人と話がしたいらしく、公園デビューすることで友達もできるらしいです。そういった人もターゲットになるのかと思います。

#### 委員

子育て世代を取り込んでいくのは大事です。幼稚園や保育園との連携は重要だと思います。鉄は熱いうちに打てという言葉がありまして、小さい子どもが必死に砂場とかで探していたりするのですが、それが非常に良い刺激になります。

市民アンケートについて、無作為抽出で2,000人とのことですが、世帯アンケートでな

くて個人アンケートですか。

#### 事務局

個人です。18歳以上85歳未満の市民が対象となっています。他の室課でも市民アンケートを取る際に同様の抽出をしています。

#### 委員

税金の使い方として、こういった事業に使うのはありがたいと思います。公園は公共財で誰もが利用できるものです。あまりにも身近なので、おそらく市民はありがたさがわからない。都市の公園、樹木に愛着を持ってもらう、公園に来て良かったなと思ってもらう人を増やしていくために税金を使うのは大事なことだと思いますし、吹田市の資源になります。

コロナ禍が2020年に始まって、周りを見ているとオンラインで仕事が終わってしまう人が多く、健康目的やコミュニケーションをしに公園に行く人が増えたと思います。コロナ禍は情報センターにとってはプラス材料であったと。コロナ禍で行動変容が起きましたし、そういったこともポジティブに捉えてマーケティングをしてもらえたらと思います。

#### 指定管理者

公園は空気みたいなものなので感じているけど、実感として難しいですね。公園にはいろいろな価値を共有していることを伝えていかないといけないと感じていますし、そこまできかないと公園利用の継続には至りません。弊社は公園の指定管理も行っていますが、コロナ禍において公園の利用は増えていたのですが、現在は人が減ってきている公園もあり、理由として商業施設などの楽しいところに人が流れているからと聞いています。せっかくなにかチャンスがもったいないと感じています。楽しい場所、体に良い場所、価値が共有できることをもう一度しっかり発信し、気づいてもらえる要素をイベントに入れていかないと継続できませんし、課題と認識しています。具体的な行動を起こすうえで我々だけではマンパワー不足な部分があるので、先ほど述べたまちづくりが好きなプレイヤーを発掘し、発掘したプレイヤーが吹田市のいろいろな分野で活動していけたらと思っています。

#### 委員長

委員が税金の使い方が非常に良いと言っていましたが、指定管理者の財政状況はいかがでしょうか。

#### 委員

決算報告書を確認しましたが、財政上の問題は見当たりません。

#### 委員

樹木みまもり講座で講義した時は子どもが来てくれるかと思ったら、参加者の多くは高齢者だったということがあり、用意したプログラムとニーズとのギャップを心配しました。街路樹の効果を伝え、落ち葉に対する苦情要望が多いので落ち葉に親しみを持って

もらおうとしおりに作るプログラムを用意したのですが、逆に大人な方ばかりで。

#### 委員

逆に大人に需要があるということでしょうね。高齢者がたくさん来るのが良くて若い人が来たら良いみたいな風潮はおかしいと思います。高齢者には歩きながら樹木を見て回るのが好きな方が多いです。大人のためのプログラムとして良いのでは。

#### 指定管理者

我々が公募する時に利用者層を若返らせますという言葉は常套句のように使うのですが、超高齢化社会なのだから高齢者もまちへ出て公園に足を運ぶというのはみどりの空間としても大事なことで最近改めて感じているところです。一方で小さな子どもがまちのみどりの大切さを楽しみながら学んでもらうことも大切です、両方の世代が要るのだと思います。

#### 委員

高齢者が生き生きとしているまちは素敵です。若い人もここでずっと住もうと思います。

#### 委員

吹田市の街路計画、見守り隊というのは他の市に比べて進んでいます、見守り隊のサポートも指定管理者の業務に位置付けられていますか。

#### 指定管理者

そういった人たちの支援も行っています。積極的な市民にとっては見守り隊の活動ができることを喜んでいるみたいです。大事に取り組みたいと思います。

#### 委員

市域が広いので満遍なく見守り隊にいろいろな情報提供ができていいのか、このあたりはもっと裾野を広げていかないのかと考えていますか。

#### 指定管理者

満遍なくということまではできていなくて、ニュータウン寄りになっています。いかに公平に情報提供できるかと気になってはいますが、解決策が見つからない状況です。

#### 委員

いたるところで高木化した街路樹が伐採される時代になってきて、安全面からの伐採に至る事例があると思いますが、そのことについてどう捉えていますか。

#### 指定管理者

市民の意識を聞くために今回の市民アンケートに街路樹管理についての設問を設けましたが、市民からの回答で専門家を入れて一緒に考えたいという回答が多くあって、地域差はありますが、一緒に考えたいという回答が多い地域の街路樹は比較的豊かな傾向にあります。

#### 委員

伐採をしないといけなくなった樹木は伐採後に活用されていますか。一時期、市長がケ

ヤキは使えるから使えという話があったように思いましたが。

#### 事務局

すべてを再利用とまでは全然いけていなくて、そこは非常に課題だと思います。

#### 委員

資源として考えたら活用できるものを活用できたら面白いのですが、なかなか大変だと思います。

#### 指定管理者

小さな取組ですが、キャンドルロードという市民が主催するイベントがあり、市民が千里南公園の台風で倒れたユーカリの木を使ってスツール作りをしていました。小さいけどそういった意識を持ってまちづくりに取り組もうという発信を市民とともに取り組んでいます。少しずつでもできたらと思います。

#### 委員

広報活動について、Facebook と Instagram のフォロワー数が増えたとのことですが、フォロワー数はどれくらいですか。発信した中身まで分析していくと、種類別でのフォロワー数と実施内容を検討するところに活かしていけると思うのですが、そのあたりの取組はしていますか。

#### 指定管理者

SNS をもっと丁寧に発信していこうというのは公園みどり室から意見をもらって、専門の業者と連携する機会があったので実施しようと考えています。

分析も進めているところで過去に反応の良かった案件を見ると一定の傾向が見られます。今は Instagram 中心にしていますが、ビジュアルの楽しさもですが、コメントの書き方ひとつでも変わるとわかったのでそのあたりを意識して取り組めたらと思います。Instagram のフォロワーが 834 人、これを多いと見るか少ないと見るかですが、公園という人が集まる空間を取り扱っていればもう少し違ってくると思います。

#### 委員

やはり利用者人数を SNS であるとか、事業者やプレイヤーへのアンケートを取る必要があると思います。大学に勤めていた時に環境教育の効果を子どもたちに聞いたのですが、単に面白かったとか、こんなことに気づいた、こんなことがしたいとか、いくつかの段階で聞いてみると面白かったというだけでなく深い部分が聞けるのではないかと思いますので、アンケートの取り方を工夫した方が良いと思います。

はなみど号は具体的にはどのようなものですか。

#### 指定管理者

資料 4 に載っている車です。広場に出向いてワークショップや物販、園芸相談を実施しています。

#### 委員

軽自動車に詰め込んで行くのですか。

#### 指定管理者

軽自動車にはなみどのシールを貼って詰め込んで行きます。後部を開けて物販を実施しています。試行的に実施してみましたが、場所の選定があまり良くなかったなので、そこを改善していきたいです。

#### 委員

キッチンカーのイベントの時にあると面白そう。

#### 指定管理者

つつつ市の時に我々もはなみど号を出し、そこでアンケートを取っています。人員に余裕があれば正直なところ、施設にいるよりも毎日出向いた方が良かったりします。そこはスタッフに過度の負担がかかるので言えませんが。

#### 委員

車自体に緑化がされていたら面白いですね。

#### 委員

コスチュームというか派手にした方が良いと思います。

#### 委員

インタープリターカーと聞いていたのもっと固いものかと思っていました。

#### 委員

名前が柔らかいのが良いですね。

#### 委員

何故はなみど号を白にしたのですか。黄緑色の方が良かったのでは。

#### 指定管理者

会社にリース車を依頼したところ白い車が来ました。そんな事情があります。

#### 委員

目に留まりやすい、印象的な外観も大事ですよ。

#### 委員

それだけで新しい取組という印象になりますね。

#### 委員

子どもが喜ぶですね。

#### 指定管理者

以前、江坂公園に情報センターがあった時は子どもたちがはなみどはなみどと言ってくれました。

#### 委員

兵庫県立人と自然の博物館でもキャラバンを実施していますが、指定管理者が外に出向いていく中で参考になるものがあればご意見いただければと思います。

#### 委員

キャラバン先の人と目的が共有できていると相乗効果が期待できます。キャラバンの

トラックが来ただけで子どもたちが集まります。帰りまで手を振ってくれます。

#### 委員

はなみどという語感が良いですね。すごく親近感があります。はなみずみたいでダサイところが良いです。もっちゃりしているところが気に入っています。子どもにとっては覚えやすい。英語とか難しい言葉を使う必要はなくてはなみどで良いと思います。

#### 指定管理者

ロゴを考える時もおしゃれ系と比較して悩んでいましたが、このぐらいの方が良いと思います今のロゴになりました。

#### 委員

花と緑のフェアのチラシかわいいですね。毎回すごく凝っていますよね。これはどなたが作ったのですか。

#### 指定管理者

毎回同じイラストレーターに依頼してメインビジュアルを統一化することによって毎年あのイベントだって思ってもらえるよう意識しています。レイアウトを依頼する際は見やすさを重視して依頼しています。

#### 委員

このチラシだけでも集めたくになります。

#### 指定管理者

すごく有名なイラストレーターに依頼しています。

#### 委員

はなみど号もこのデザインにしてもらったらどうでしょう。

#### 委員

絵本とかキャラクターに発展しそうですね。

#### 指定管理者

そうですね、くまちゃんシールぐらいできそうですね。

#### 委員

1 施設に統合されて良かった点や課題はありますか。

#### 指定管理者

以前は情報センターが江坂公園内にあったことで気軽に寄ってくれる人がいてコミュニケーションが非常に取りやすかったのですが、それが現在の千里ニュータウンプラザだとなかなか難しいところがあります。

#### 委員

目的意識を持たないと難しいのですか。

#### 指定管理者

かなり目的意識を持っていかないと、難しいですね。そういう経過もあり外に出向いていく頻度が増えてきています。もちろんこの利用者数を増やすのも大事なのですが、同

じ労力をかけるのなら外だろうと思います。展示会とかも講習室で開催していて、千里ニュータウンプラザ2階ロビーで展示会を開催するとたくさんの方が来場します。もちろんこの場所も大事なのですが、外に出向く機会を増やしていきたいです。

1 施設に統合されて良かった点は、スタッフが1か所に集まっているので集約化ができていくところでしょうか。外に出向こうとしています。市民にとっての利点については分析が必要です。

#### 委員

スタッフ間の意識の共有はしやすくなりましたか。

#### 指定管理者

そうですね、常に顔を合わせているので。

#### 委員

外に出向いてそこで知り合った人が情報センターの近所に来たから立ち寄るといった流れができると良いですね。今もコロナの関係で長居できないかもしれませんが、ゆくゆくは展示室でちょっと休んでいたたり、コーヒーを飲んでいたり雑談できるようなサロンのような雰囲気になると良いですね。そうするとリツイートが増えるかもしれません。

#### 委員

外に出向いていく場所として南部を意識しているのですよね。アンケートにもあったみどりのボリュームが違うというのが背景にありますか。

#### 指定管理者

そうですね、実施してみて意識が高まっていくものなのかを検証する必要がありますが。

#### 委員

上新田公園は南吹田駅前の公園ですか。

#### 指定管理者

駅前で通過動線も多いですし、週末になると子どもや親子連れで遊んでいます。そこに対して上手くアプローチができたと思います。

#### 委員

駅前で実施していると、たまたま通りかかった人が立ち寄って違う層が興味を持つきっかけになりそうです。

#### 指定管理者

それを期待してメイシアター前にあるいずみの園公園で実施したのですが、メイシアターに来る人はメイシアターに入っちゃうので立ち寄ることがないのですよね。

#### 委員

いずみの園公園の広場にはパフォーマーがいますが、どうなのでしょう。

#### 指定管理者

広場には練習している学生のパフォーマーがいますが、練習を目的に来ているので花

やみどりには全く興味がないようです。音楽鑑賞や子どもたちの発表会で目的を持っておしゃれをして来ているので、土を触るといったアクティビティを求めている方は少なかつたように思います。

#### 委員

立ち寄るところまでにはいかないのですね。

#### 委員

今後の話ではありますが、情報センターを通常時午前 10 時から午後 6 時まで月曜と祝日以外を開けているということをしなくても良いのかもしれませんが。講習室や展示室を予約制で運用するのは良いのですが、ずっと開けている必要はないかもしれません。公共施設だからずっと開けてないといけないという考えに囚われる必要はありませんし、開館時間について少し検討してはいかがでしょうか。

#### 委員

外に出向いていくこととの兼ね合いで限られた人員を効果的に活用した方が良いでしょう。

#### 委員

むしろ開けているのに誰も来ない方が市民感覚的に良くないと思います。兵庫県の佐用町昆虫館では 4 月から 10 月しか開けていません。現在、NPO が運営しているのですが、需要に即した賢い選択です。

#### 委員長

それでは、ご質問などはありますか。

ないようでしたら、指定管理者には議事の都合上、退室していただき、進行を進めていきたいと思います。

### **(3) 審議の総括・答申**

#### 委員長

それでは、審議の総括・答申に入りたいと思います。審議の総括・答申及び今後の対応などについて事務局に説明を求めます。

【事務局より「審議の総括・答申及び今後の対応」の説明】

#### 委員長

それでは、審議の総括に進めさせていただきたいと思います。

#### 委員

基本的に管理運営をしっかりされていると思いますが、これはセンター長によるところが大きいのではないのでしょうか。

#### 委員

それは感じます。最初のところで委員から人員配置について、最後のところで委員から施設の利用時間についての話がありましたが、市においても指定管理者と連携して戦略を立て、限られたスタッフを大切にしながらどう効率的に運営するかを前向きに進めて

いただきたいです。1施設に統合されたことで効率的な運営ができて良いのですが、ここから活動のフィールドを外に広げていかないといけないので、行政のサポートが必要です。

#### 委員

属人的とのことですが、優秀な人が来てラッキーだったのですよ。良い現場は属人的になります。他の自治体にはない取組をしているから優秀な人が派遣されているのだと思います。公園のルール緩和とか新しい制度とかを指定管理者と連携して変えていく、それが最先端です。今の枠組みで取り組むのならこの自治体でも取り組んでいます。その次の段階を吹田市は狙える感じがして楽しみにしています。

#### 委員

私は図書館、介護施設、勤労者会館、メイシアターと市の他の審議会委員もさせていただいているのですが、この施設が一番吹田市らしくてすごく光っている施設なのですよね。公園みどり室は支援していると思いますが、すごくユニークな施設で全国にアピールできる施設だと思いますし、難しいと思いますが、公園の規制緩和を進めていただくとそれ自体がイノベーションにつながるのでは是非とも進めていただきたいと思います。

#### 委員

指定管理者もある意味市民ですからね。その人たちが生き生きと働ける環境を作ることによって公園を利用しにきた方にも伝わるので大事にしてほしいです。

#### 委員

その象徴的な存在としてはなみど号をもう少し魅力的にするよう指定管理者に言うてください。

#### 委員

ちなみに兵庫県立人と自然の博物館では公募をかけ、プロが応募し採用されました。

#### 委員

そういう話題性を作られてはどうでしょうか。

吹田市の場合、南部がみどりの普及が課題でそれに対して目を向けて取り組んでいるので動けるような人員体制を検討するのはどうでしょうか。

#### 委員

南部が課題と言われると南部の人にとっては良い気がしませんし、南部には南部のみどりのあり方があると思います。北部はこういう特徴で南部はこういう特徴、そういった表現の仕方が良いと思います。

#### 事務局

南部はまとまったみどりが比較的少ないという意味合いです。

#### 委員

南部は人情のあるまちですよ。みどりがなくても人情がある。

## 委員

委員から2種類のプレイヤーの話があって、指定管理者も子育て世代や女性をターゲットに取り組んでいますが、幼稚園や保育園の子どもたちに楽しさを教えるという方向を強く打ち出していけば結果的に子育て世代つながってくるので、そういった戦略を指定管理者には打ち出していただけたらと思います。

事業者やプレイヤーの声を集めていますが、もう少し質的な分析、SNSの活用、アンケートの取り方を工夫することで次の取組につなげ事業計画に反映していただきたいです。

## 委員

私は当初、吹田にみどりがあるまちづくりといった時にまちづくり協議会を巻き込む話を考えていましたが、今日の指定管理者の話を聞いて、むしろ、まちづくり協議会でも出会っていない人を公園に巻き込んでいるなと思いました。まちづくり協議会を運営している部局ではプレイヤーが高齢者ばかりになって全然まちづくりに関わらない人もいう悩みがあり、指定管理者が実施していることはある意味まちづくり部局にとってもプラスです。質疑のところでもまちづくりに興味がある人を巻き込むためにもっと公園の活用促進をした方が良くと言ったのはそういう意図があったからです。それをする事で普段公共の空間に関わっていなかった人と出会い、まちづくり協議会とつながるかもしれません。みどりからまちづくりに関わる人を掘り起こして吹田市のためという流れになるのかなと思います。指定管理者が取り組めるのも公園みどり室の対応が良いからだと思います。これをさらに発展させていってほしいです。

## 委員

千里南公園のカフェの公募の時を思い出しました。公園に来た人が地域づくりとかを相談できる場を作ることができたらいいねという意見が公募の時に多く出たのですが、結果的には実現しませんでしたよね。

今日の話を聞いた中で、指定管理者が多様で快適な公園の使い方の発信ということで、公園を使うワークショップをされていて、この中でも公園の活用、それが地域づくりやまちづくりに展開するような意図を持ってもいいのかなと思いました。何かやりたいという人が集まるような場所を公園が作って、そこから次の動きが出てくる仕掛けを考えてもいいのかなと思います。

## 委員

まちづくりだと難しそうで大きくて実態が見えないというイメージを持たれがちですが、委員が言うように公園だと気軽にやりたいことをやらせてくれるというイメージが広まればみどりから新しい人材が出てきそうです。

## 委員

どんな雰囲気公園作ると考えるよりも生活の中でこれがあつたらいいなぐらいの気軽さで行動した方が取り組みやすいと思います。

## 委員

公園が持っている力というか受け皿的な存在になるという。

## 委員

子どもたちの公園の楽しみ方、食べるものがどこにあるのか探してみるとか、それだけでも面白いですよね。私の子ども時代も裏山に行ってほとんど毎日遊んでいて、その時に何を覚えたかという、どこでお腹を満たそうかということで食べ物が一番わかりやすいですよね。公園はそういった楽しみ方を残念ながらあまりやっていないのですよね。禁止事項は多いですが、イベントにしたらできるのかなど。そういう意味で指定管理者の事業報告にあった食べるガーデンというのは面白いと思います。ガーデンだけでなく公園の中にもいろいろ可能性があるんで食べられる木も植えたら良いのではないかという気がしますがね。

## 委員

市役所職員は指定管理者主催のイベント開催時やイベント終了後に指定管理者とどのような関わり方をしていますか。

## 事務局

はなみど号が設営されている時や屋外で講座が開講されている時に職員として説明に行くこともあれば、一市民として飛び入りで参加することもあります。その際に指定管理者と意見交換を行い、日頃から連携を図っています。

## **3 閉 会**

### 委員長

答申につきましては、本日いただいた意見をもとに事務局と調整しとりまとめます。それでは、本日の委員会はこれで終了しますが、事務局から何かありますか。

### 事務局

本日机の上に置かせていただいた参考資料5の事業計画書につきましては、事業者のノウハウを含む内容ですので、回収させていただきます。

指定管理期間4年目にも今回と同様、第三者モニタリング・評価を実施いたしますので、委員の皆様には引き続きご協力願います。

### 委員長

本委員会で得られた個人情報等の扱いは、ご注意願います。  
委員会はこれで終了します。ありがとうございました。